



2015年10月1日に設立したJUMP (Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team: 日本身元不明・行方不明者対策チーム) は、2年目を迎えます。

今年は、2011年の東日本大震災から7年目を迎えますが、5年目の節目を超えて改めて、どの年も貴重な時間であると思うようになりました。私達は、「平時及び有事において一人でも多くの身元不明者の身元を特定し行方不明者を減らす」という目的のために、今後も前進していきます。

2016年の活動報告

1月10日

第1回ミーティング
東京大学法医学教室

机上訓練開催

[目的]各レベルの組織の代表となり、歯科医師の派遣体制を組むことおよび精神的ストレスを疑似体験する。

3月25日

第2回ミーティング
東京医科歯科大学法歯学分野

5月13日

第1回企画セミナー「今後の身元確認を考える」
東京医科歯科大学法歯学分野:座長 櫻田宏一教授

8月24日

第58回歯科基礎医学会(札幌)サテライトシンポジウム開催
「災害大国日本における身元確認を考える
～歯科医師としての責務とは～」 特別講演:東北大学歯学部 佐々木啓一教授

9月3日

第15回警察歯科医会全国大会(岐阜) ポスター発表
「日航機墜落事故、阪神・淡路大震災、東日本大震災における「歯科所見による身元確認」の再検証」

10月20日

ファイザーヘルスリサーチ 第25回(2016年度)国内共同研究 助成金採択
「日本におけるDVIシステム構築への取り組み」

11月23
～25日

韓国の歯科法医学者Sang-Seob Lee先生より National Forensic Service(NFS)からの招待にてNFS視察 第40次韓国法医学会に出席
代表 齊藤久子・個人サポーター 石井名実子の2名参加

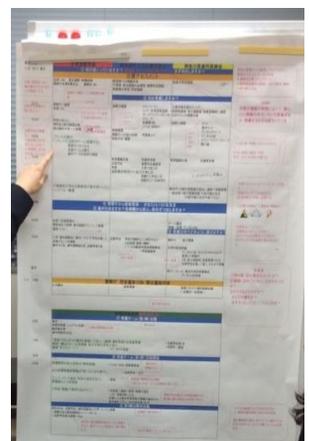
産経ニュース 2016年3月19日

ニュース
歯科医の震災体験、次へ 女性9人、勉強会や出版も
2016.3.19 10:46 ツイート おすすめ 0 0 0



大災害に備え、身元確認の訓練に臨む女性歯科医師ら = 1月、東京・本郷の東京大学

机上訓練の反省会



2016年 日本で発生した自然災害・事故

1月: 軽井沢スキーバス転落事故

15日1時55分頃、長野県・群馬県境付近(軽井沢駅約2km)で、定員45人の大型観光バスがガードレールを倒して道路脇に転落した交通事故。

乗員・乗客41人(運転手2人、乗客39人)中15人が死亡(うち乗員は2人も死亡)、生存者も全員が負傷。

4月: 熊本地震

14日21:26 熊本県上益城郡益城町で最大震度7の前震が発生。

16日 1:25 前震の28時間後、さらにM7.3の地震(本震)が発生。

活断層型地震

震度7が2回観測される異例の地震、余震の規模と長期化も異例。

人的被害: 直接死50人、関連死95人の計131人(11月14日現在)。

建物被害: 住宅の全壊約8000棟、半壊約3万棟、一部損壊約14万棟。

※日本歯科医師会の活動→日本医師会災害医療チーム(JMAT)に歯科医師、歯科衛生士参加。



7月: 相模原障害者施設殺傷事件

26日未明に神奈川県相模原市の障害者福祉施設で発生した、刃物による大量殺人事件。

19人の死亡が確認され、26人が重軽傷を負った。

8月: 迷走台風10号

19日21時に東京・八丈島の東で発生した台風10号は南下を開始し、南西諸島の周辺でほとんど動かなくなり、24日に「台風の目」が現れ急旋回し、30日18時前に岩手県大船渡市付近に上陸し、東北北部を横断して、21時頃には青森県沖の日本海へと抜けた。

1951年の統計開始以来、岩手県に最初に上陸するという史上初のルートをとった長寿台風(11日と3時間)。

岩手県大槌町では48時間の雨量225mm。8月として史上観測1位という記録的な雨量。

北海道十勝地方の上士幌町ぬかびら源泉郷は28日の降り始めからの雨量が329mm(31日6時まで)で8月の平年値の約1.7倍を記録。

〈死者数・行方不明者数〉

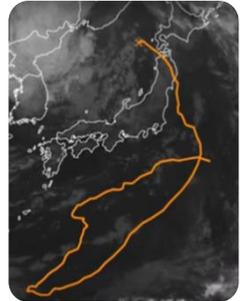
死者数: 17名(岩手県: 15名、北海道2名)

行方不明者数2名(北海道)

〈死者の状況〉

下閉伊郡(しもへいぐん)岩泉町高齢者福祉施設にて

入所者9名が濁流に巻き込まれ死亡



8月: 北海道に1週間で3つの台風上陸

17日に台風7号が襟裳岬(えりもみさき)付近に上陸。

21日に台風11号が釧路市付近に上陸、23日には台風9号が日高地方に上陸。

十勝地方・日高地方・オホーツク地方など広範囲に被害をもたらした。

その他の自然災害

- ・梅雨前線、九州で記録的大雨
- ・鳥取県中部地震で農産物被害
- ・阿蘇山が36年ぶりの爆発的噴火
- ・首都圏で積雪、交通大混乱
- ・台風16号、西日本で大雨
- ・北海道で暴風雪、交通途絶
- ・首都圏で渇水、取水制限



2016年 世界で発生した大規模な自然災害

発生月	発生地域	種類	被害等概要
1月	アメリカ アフリカ南部	寒波 感染症	記録的大寒波、11州で非常事態宣言。死者少なくとも12名。 黄熱病が流行、半年間で死者数400名超。
2月	台湾南部	内陸地震	M6.6 台南で高層マンションが倒壊、死者117名。
4月	エクアドル北西沖	海底地震	M7.8 沿岸都市で大被害、小津波発生。死者661名、負傷者 16,600名、行方不明58名。5月に起きた余震で死傷者あり
5月	インド スリランカ	熱波 豪雨水害	国内史上最高51度、死者440名以上。昨年は約2,500名死亡。 地滑りや土砂崩れが続発、死者101名、行方不明者約100名。
6月	中国江蘇省	竜巻被害	死者98名、負傷者約800名。
7月	台湾・中国南部 中国広域 インド東部	台風水害 豪雨水害 豪雨水害	台風1号猛威、台湾で少なくとも3名以上。中国福建省で69名死亡。 梅雨前線の発達と豪雨・大雨による水害が全国規模で多発。 161人が死亡、123人が不明。 モンスーン災害が多発 死者50名以上。
8月	イタリア中部	内陸地震	M6.2 死者約300名、10月にも近傍で地震発生。
9月	北朝鮮北東部 台湾・中国南部	台風水害 台風水害	台風10号猛威。日本だけでなく、北朝鮮でも大規模な水害を起こ し、死者133名、行方不明者395名といわれている。 台風14号猛烈に発達し、台湾南部を掠めて中国福建省に上陸。 死者は台湾で1名、中国で28名。
10月	中米・北米 (特にハイチ)	台風水害	大型ハリケーン・マシューが中米及びアメリカ東海岸を上陸。 特にハイチでは猛威をふるい、死者数は842名。
11月	ニュージーランド 南島	海底地震	M7.8 クライストチャーチ北東部が震源、死者2名。 同日、M6.3の余震あり。
12月	インドネシア北西部	内陸地震	M6.5 スマトラ島北西部アチェ州で死者102名。

2016年 世界で発生した大規模な事故・テロ

災害種類	発生月・発生場所・被害等概要
旅客機事故	3月 ロシア南部：ドバイ発のLCC、搭乗者61名全員死亡。
	5月 地中海東部：エジプト航空機804便 消息を絶つ、乗客56名、乗員10名。
	11月 コロンビア：著名サッカーチーム被災、死者71名、生存者6名。
バス事故	5月 アフガニスタン中部：バス2台がタンクローリーと衝突し炎上、少なくとも73名が死亡。
船舶事故	4月 地中海周辺：紛争難民や不法移民の船が相次いで転覆、死者約500名。
列車事故	11月 インド北部：急行列車の脱線事故、120名超死亡。
爆弾テロ 襲撃テロ	3月 ベルギー：ブリュッセル同時テロ、死者35名(犯人3名を含む)、負傷者198名以上。 6月 アメリカ南東部：オーランド事件 バーで男が銃乱射、死者50名、負傷者50名以上。 7月 バングラデシュ：ダッカのレストランで襲撃、銃撃戦で28名死亡、そのうち7名は日本人。 その他：シリア、イラク、トルコ、イエメン、パキスタンなど。

2017年JUMP活動予定

- 2月13日 第22回日本集団災害医学会(名古屋)ポスター発表
「過去の災害における歯科身元確認の問題点」
- 多職種連携によるDVI(Disaster Victim Identification)訓練の実施
- 平時における身元確認調査
- 東日本大震災における被災地3県における身元確認法の調査
- 海外のDVIシステムの調査
- ワークショップの開催(鶴見大学) など。

ところで、皆様、
防災対策は大丈夫？

地震
発生

- ✓ 地震の揺れを感じたら、まず何をする？
- ✓ 地震が起きたとき、火を使っていたらどうする？
- ✓ 地震で部屋に閉じ込められたらどうする？
- ✓ 地震が収まってすぐにはいけないことって何？
- ✓ 避難する前に必ずすべきことは？
- ✓ 避難をするときに注意すべきことは？
- ✓ 火事を発見したら、どの方向に、どのようにして逃げる？

答えはニュースレター2号で！

2015年の「世界で平和な国ランキング」では、日本は世界で8位でした。アジアでトップ10入りをしている国は日本だけです。しかし、同年の「地震の多い国ランキング」ではインドネシアに続き、2位でした。これは地震の被害が大きいのではなく、地震の件数が多い順位になります。

日本は、文化的で平和な国ですが、残念ながら災害大国です。自然災害などの不測の事態から国民を守ることや再発を防止することは、国の最重要課題です。国民ひとりひとりの命は、何よりも優先されるべきものですし、国は身元不明・行方不明の方々が名前を取り戻すことに最善を尽くすべきです。JUMPは、過去の大災害からの教訓を得て、多くの災害や事故を経験してきた他国のシステムを学び、次の災害へ活かすことが使命であり課題であると考えます。

2016年において、JUMPのサポーターは、個人サポーター28名、学生サポーター6名、団体サポーター2団体になります。本団体の趣旨をご理解いただき、サポーター登録していただき、誠にありがとうございます。今後ともご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。